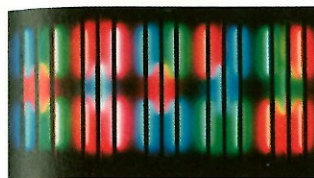


10月1日に開幕する神戸ビエンナーレ2011。それに先がけて「高架下アートプロジェクト」と題されたイベントが、神戸の街なかで展開される。コンペティションによって選ばれたのは13作品。審査経過を振り返りながら、各作品を紹介しよう。

高架下アートプロジェクト コンペティション入賞作



大倉尚志
《オルタナティブ・プロジェクト(仮称)》



北川太郎
《時空ピラミット》



堀川岳
《Flower Station~2011KOBE~》



チーム「銀の雨」
《銀の雨・金の環》

神戸ビエンナーレ2011 アートコンペの受賞作が決定

高架下の商店街。
特異な場所性を生かした
プランが選ばれる

JR神戸駅と元町駅の間に「元町高架下」(通称「モトコー」)が延びる。戦後の闇市を起源にもち、今も電気製品、ファッション、飲食店が並び、その独特の雰囲気は上野の「アメ横」と並び称されるほどだ。この商店街を舞台に、空き店舗などにアート作品を展示する「高架下アートプロジェクト」が、神戸ビエンナーレ2011(10月1日開幕予定)に先立ち、この4月中旬頃から制作される

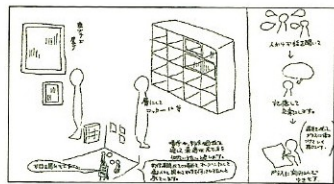
。

(作品によって時期が異なる)。

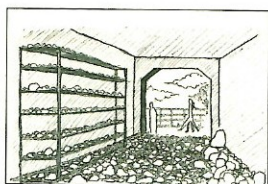
1月28日、一次審査が行われ、越智裕二郎(兵庫県立美術館学芸員)ほか4名の審査員が、応募51作品から入賞作品13点を選んだ。審査員たちが、「展示開始してから各作品がどう変化していくのか、そのプロセスに面白みがある」と今回のコンペ結果を評しているように、時間の経過とともに、人々との関わりが深まっていき、変化していくような作品が多く選ばれている。

なお9月下旬に予定される二次審査で、13作品から大賞および特別賞が選ばれる。

光や石を素材にしたインスタレーション、観客の参加も促すインタラクティブアートなど多様な13点。サブカル色の濃い街との相互作用に注目!



三浦真琴
《スプ ヨア メオレ》



松延総司
《私の石》



人長果月
《星》



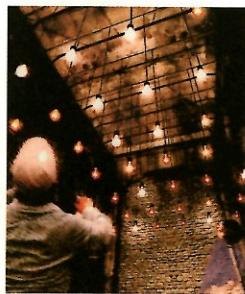
Triplicata
《ビーノ》



岩塚一恵
《鼓動》



戸井田雄
《時を紡ぐ~Marks~》



oxoxo(ゼロバイゼロ)
《Brilliant Noise》



本堀雄二
《BUTSU-ofudousan》



TATO ARCHITECTS
《あなたとであうとき》

神戸ARTサポーターズ登録者募集



神戸ビエンナーレ2007をきっかけに誕生し、その後も神戸におけるアートイベントを支え続ける「神戸ARTサポーターズ(KAS)」が、ボランティアスタッフを募っている。よりアクティブなアートの楽しみ方を、ぜひあなたも体験してみよう!

登録はビエンナーレのホームページより
<http://www.kobe-biennale.jp/>
問い合わせ=神戸ビエンナーレ
組織委員会事務局
Tel.078-322-6490
supporters@kobe-biennale.jp

